

# 遠隔正式授業が始まって1週間の様子から

2020年5月15日 21時

山口です。5月11日（月）からの遠隔正式授業が始まって1週間経ちました。これまでに気づいたこと、わかって来たことについて、私見も交えながら語ります。

**Q：Office365 や高専 Blackboard や Zoom などシステムが多過ぎて大変です。どれか一つに統一してもらえませんか？**

A：他大学ではアクセスが集中することでサーバーダウンを起こし、遠隔授業に支障が出ている例があります。津山高専は、遠隔授業を開始してから今まで、サーバーに大きなトラブルを起こさず、順調に運用できています。これはシステムを複数持つことで、負荷を分散していることが利点として働いていると考えられます。ライブ授業だけではなく、教材配信型の授業と様々な遠隔授業形態をとることで、サーバーの負荷を減らすメリットが見えて来ました。Zoom や Skype など他サーバーですので、さらにリスク軽減にも役立ちます。

**Q：1年生でパソコンの操作にも慣れていなくて大変です。もっと配慮してください。**

A：私もそれには同感し、個別支援などの対応策を考えて来ました。今は徐々にですが、皆さんパソコン操作に慣れて来ているように思います。しかし、考え直せば皆さんは、普通科の高校生ではなく、高専の総合理工学科の学生です。今後、そして将来のエンジニア・科学者としては、パソコン操作は基本中の基本になります。パソコンなくして勉強も仕事もありえません。皆さんは、一人1台ずつパソコンを所有できる最初の学年になります。最初は大変で、保護者の方も相当苦労されて皆さんに操作を教えられた家庭もあると聞いています。皆さんは、高専生という自覚と保護者への感謝を持って、パソコン操作を頑張っ  
て覚えましょう。もちろん学校は常に支援体制をとっていますので、困ったら SOS を出してください。

**Q：遠隔授業は課題が多く大変だし、学力がつくかどうか不安です。**

A：ここからは私見になります。私は前職が中学校の教員だったこともあり、大阪の中学校の先生達と授業法の共同研究をしています。先週 Skype で研修会を開き、多くの先生達と約5時間にわたり、討議をしました。ほとんどの中学校では、緊急非常事態宣言下で、5月上旬でもまだ教科書の配布すらできず、遠隔授業のシステムもなく、多くの生徒たちは十分な授業を受けられずプリント学習が精一杯の状態でした。これからのために、遠隔授業のインフラ（環境整備）と教材づくりについての講義をしたのですが、あらためて感

じたのが、高専の恵まれた環境でした。さらに、今感じているのは、この遠隔教材を真剣にやったら、もしかしたら教室での授業より力がつくかもしれないという期待です。たとえば、私の手作りのパワーポイント教材は、自分のペースで何度でもトレーニングができるように設計してあります。教室の授業では、時間の流れの中でその時間だけのトレーニングに留まり、あとは家庭学習での復習程度ですが、配布教材だと各人のやる気次第で、繰り返し、何度でも相当量のトレーニングができます。他の教科の課題も大変だとは思いますが、教室でぼやっとしていても授業は流れますが、遠隔の課題作成からは逃げることはできません。きっと皆さんは1年生から相当鍛えられ、自らを律し、自学自習能力と学習習慣が付き、ICT 機器の操作能力も強制的につけられるのだらうと、学力面の向上が期待できる光が見えてきました。もちろん実験・実習等は登校開始後にカリキュラム変更しています。遠隔授業での不足面だけを見るのではなく、やっていく中で、新たな可能性が見えてきたと感じています。

**最後に。**先日 Teams でクラスの自己紹介をしている時に、ある学生がこんな言葉を大切にしていると言ってくれました。

大切にしている言葉：

努力すれば成功するとは限らないが、成功している人は必ず努力をしている。

本当にそうだなあとと思います。個人によって努力の仕方、程度は違うとは思いますが、戦うべきはやはり弱い自分です。この自宅で過ごす期間、しっかりと自分と向き合って、まずは自分と戦ってほしいと思います。繰り返しの話になりますが、困った時に、誰かに SOS を出せる勇気や、わからないことをわかるまで粘り強く質問し続ける努力も、弱い自分との戦いに含まれます。

いつもとは違う、今までとは違う環境での生活や学習。だからこそ、中学校までに発揮できなかった自分の長所や強みなどの新たな発見もあるかと思っています。すでにクラスのために、いろいろ情報共有の工夫をしてくれる方も出てきました。平時ではあまり必要のなかったはずものが、今はとても大切なものになっています。ものの見方や考え方を少し違う方向から見ると視野や考え方が広がります。ピンチの中にある今、逆に自分を鍛え、新たな自分の可能性を発見できるチャンスの時期なのかもしれません。

